

人権図書

平成27年11月24日

【香美町人権教育研究協議会 香住支部】

No	タイトル	内容（概略）	出版
1	じんけんスキルブック	人権問題について主体的に学び、具体的な生活場面と関連付けながら、問題解決のスキル（技能）の育成を目的としています。全145ページで幼児期、少年期、青年期、成人期、高齢期のそれぞれのライフステージに応じた32ののスキルを紹介しています。そのまま利用できる幼児、小学生向けの学習カードや、ゲーム形式のワークシート、ロールプレイによる学習の紹介など、すぐに活用できる内容になっています。	H13
2	じんけんスキルブックⅡ	収録している人権課題は、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和、外国人、HIV感染・ハンセン病、インターネットに関するものです。住民学習の資料、学校教育の教材として、取り外しができるバインダー方式で、コピーしてすぐにお使いいただけます。	H22
3	じんけんスキルブックⅢ	収録している人権課題は、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人、ハンセン病患者、インターネットによる人権侵害です。ファシリテーター編では、平成25、26年度に兵庫県人権教育研究協議会が主催の人権教育入門講座で使用した資料も掲載しています。	H26
4	しきじのみっちゃん	家庭がとても貧しかったためほとんど学校へ通えず、読み書きのできなかつた北本さんは、子どもが巣立った五十歳過ぎから識字学級に通い始めました。仕事や家庭・地域のことなどを誠実に、また力強く生きてきたことから創り出された北本さんの人柄は、識字学級の講師をはじめ、接する人々を魅了し続けました。	H24
5	原点から基本から人権教育 —豊かな実践のための Q&A—	全体を「原点」である部落差別解消への取組を基調に、人権教育の4つの視点から紡ぐ構成としています。第1章では「人権のための・をめざす教育」および「人権を尊重した教育」、第2章では「人権としての教育」を、第3章では、「人権についての教育」を学校教育について、第4章では同じく社会教育について、「基本」的なメッセージを記載しています。	H27

6	21世紀へのメッセージ わたしたちからはじまる人権	この冊子は、各種研修会を想定し、体験的参加型学習(ワークショップ)の手法を取り入れた学習教材集です。内容は第1部「わたしたちを大切にしよう」、第2部「人権感覚をみがこう」、第3部「同和問題を考えよう」で構成されています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H9
7	気づき、発見、人権	この冊子は、日常の生活の中で見聞きすることをイラストを通じて、人権問題に気づいてもらうことをねらいとしています。内容は「いいのかな?このまちで(ルールと人権)」「あなたは何て声をかける?(ことばと人権)」「会話で会話(会話と人権)」他で構成されています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H11
8	気づき、発見、子どもから!	この冊子は子どもの具体的な生活場面から「子どもの人権」について考えるために作成したものです。子どもたちを取り巻く私たちおとなや地域がどのような言動をとることが、豊かな人権感覚を持った子どもたちの育成につながるのかを学習のねらいとしています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H14
9	わたし解き放ち	この冊子は人権・同和問題に関する教材とその展開法を見開き2頁に掲載し、研修会や学習会ですぐ使えるようにしています。アイスブレイキング教材や人権クイズ・パズルも掲載し、明るく楽しい雰囲気の中で、選択行動しながら多角的に学び合えるように構成しています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H16
10	解き放ちのおもちゃ箱	この冊子は様々な研修会・学習会等で明るい雰囲気の中で楽しく学び合える教材として作成しています。自尊感情や自分の中の差別意識への気づき、コミュニケーション能力やアサーティブネス(非攻撃的自己主張)などのスキルなどを培えるように、「わたしの自分!」「何にこだわる?」「人権相談一両親に何を伝えるべきか」他で構成されています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H17
11	わたしたちの人権物語 一人ひとりが主人公	今、「正しい答えを覚える」という学習から、実生活に生きることを学ぶことが必要になっています。この冊子に掲載の教材は、身の回りの出来事に関心を持ち、人権問題を自分の問題として、また社会の解決課題として考え、話し合い、関係をつくりながら解決の道を探ることを示しています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H21
12	ビタミンJ	ビタミンは人間が健康的に生きていくうえで必要な物質で、今、13種類のビタミンがあると言われていますが、14番目のビタミンとして「ビタミンJ(人権)」をお届けします。このビタミンを摂取することが人権の尊重された社会を築いていくための”心の栄養剤”となることを願っています。(公益財団法人滋賀県人権センター)	H22

13	アイスブレイキング入門	アイスブレイキングは、見知らぬ人どうしの出会いを演出する技術です。合コンやパーティー、教育活動の場、市民活動jの場など、出会いが生まれるあらゆる場面で役立ちます。	H21
----	-------------	---	-----

問い合わせ:香美町教育委員会 香住区生涯学習センター(香住区中央公民館内)

TEL 36-3764 FAX 36-3568

【香美町人権教育研究協議会 村岡支部】

No	タイトル	内容（概略）	出版
1	人権教育のためのコンパス[羅針盤] 学校教育・生涯学習で使える総合マニュアル	人権教育に関する基礎的理論、49個の実践的学習活動(アクティビティー)、人権実現のための行動についてのアイデア、人権に関する基礎的知識や情報、グローバルな人権問題に関する詳細な情報など、人権教育にたずさわる教師や指導者が必要とするすべてのことがらが盛り込まれています。	H24

問い合わせ:香美町教育委員会 生涯学習課(村岡地域局内)

TEL 94-0101 FAX 98-1532

【教育委員会】

No	タイトル	内容（概略）	出版
1	これで分かった！ 部落の歴史 私のダイガク講座	部落差別の原論、起源から中世、近世、そして賤民廃止例（「解放令」）までを取り扱ったテキスト。さまざまな史料を手掛かりに中世へとさかのぼって部落史をとらえなおし、未来に対する楽天的な展望と持続的な行動指針を探る。	H16
2	これでなっとく！ 部落の歴史 私のダイガク講座	『これでわかった！ 部落の歴史』の続編。近現代の新しい部落史を大学での講義をもとに部落問題と人権問題との関係も視野に入れて新たに執筆。多くの史料・図表・写真を使っの具体的でわかりやすい入門書。	H22
3	部落史に学ぶ—新たな見方・考え方に たった学習の展開（部落史学習）	本書では、まず第一に、啓発や教育にいま何が求められているのかを、検討。ここ数年の部落史研究から提起されてきたことを整理し、近年の市民意識調査に見られる若者の意識を分析しながら、現実はどういったことが必要とされているのかを考察する。第二に、そうした研究成果を教育の場でいかしていくための、学習のねらいや方法、実践の視点について考える。とりわけ、教育の立場として、部落差別の歴史をどのようにとらえていくのか、筆者自身の考えを述べている。第三に、より豊かな部落史学習を進めるための方向として、ひとつの学習展開試案を提示する。	H13
4	部落史に学ぶ〈2〉歴史と出会い未来を語る 多様な学習プラン（部落史学習）		H18
5	部落問題学習の授業ネタ 5歳から18歳でやってみよう	人権意識を高め「がんばってください」ではなく自分のこととして考え行動できる人権・部落問題の学習とは？ 参加体験型で学ぶ差別や対立、平等や多様性などのプログラムとともに学習の基礎知識、体験時のQ&Aも掲載。	H24
6	『コンパシート【羅針盤】子どもを対象とする 人権教育総合マニュアル	「コンパス」の姉妹編。人権教育についての基礎的な説明、40種類に及ぶアクティビティが掲載されており、低年齢層の子どもたちへの人権教育に最適な一冊。	H21

（小冊子）

—	『人権について考える』2014年度版	「人権」という考え方の芽生えと発展の歴史、国連等による国際的な人権擁護の取組、日本国憲法が規定する基本的人権の内容とそれを保障する制度や仕組み、最近の人権問題の動向など、さまざまな角度から「人権」をとりあげ、わかりやすく解説しています。	H25
---	--------------------	--	-----

ー 『心をひらこう』2014年度版	日本固有の人権問題である同和問題に関する現状と政府の取組などを中心に、様々な人権に関する課題を取り上げています。また、人権に関する国連の動向や基本的な事からも解説しており、世界人権宣言から国際人権規約、人権教育のための世界計画など人権保障の歴史についてわかりやすく解説しています。	H26
ー 『人権アラカルト』2014年度版	国連や日本国内での取組を踏まえ、男女共同参画、ノーマライゼーション、同和問題、外国人の人権、子どもの権利などについてわかりやすく解説しています。	H26
ー 『マンガで考えよう そうなんだ！人権』	小学生を中心にしたマンガで、様々な人権課題を、わかりやすく紹介。子どもから大人まで読める内容で、学校での配布に最適。(法)	H19
ー 『あっ そうか！人権』	身の回りのふとした出来事の中で、「あっ、これも人権だったのか」と気づききっかけとなる場面をイラストでわかりやすく説明。	H21
ー 『あっ そうか！人権2』	大好評の「あっそうか！人権」の姉妹版。パート2では、補助犬、児童虐待などを取り上げています。	H23
ー 平成25年版 人権教育・啓発白書	法務省及び文部科学省においては、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(平成12年法律第147号)第8条の規定に基づき、毎年、前年度に各府省庁が取り組んだ人権教育・啓発の施策を取りまとめ、「人権教育及び人権啓発施策」として国会に報告しています。本書は、それを広く国民向けに「白書」として刊行したものです。	H25
ー 『女性と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現 ・家庭で 家事・育児・DV ・職場で 雇用・セクハラ 	H17
ー 『高齢者と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状 ・高齢者の尊厳と擁護 ・高齢者と共に生きる社会 	H18

ー 『知りましょう！ 同和問題』	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題を考える ・同和問題とは ・同和問題の現状 ・同和問題の解決に向けて 	H18
ー 『性的少数者与人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には男と女しかいない？ ・さまざまな性的少数者の人々がいます ・性的少数者の人々が直面する問題 ・共生の社会へ 	H18
ー 『犯罪被害者の人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者等とは ・犯罪被害者の権利 ・被害者とともに 	H19
ー 『エイズ・ハンセン病与人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・HIV/エイズ ・ハンセン病 	H19
ー 『障がいのある人と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人を取りまく状況 ・共に生きるために ・支援施策 ・真のバリアフリーをめざして 	H20
ー 『外国人与人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化の時代を迎えて ・外国人の人権を考える ・多文化共生社会をめざして 	H20
ー 『子どもの人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利」とは？ ・子どもたちを取り巻く現状と課題 ・子どもたちの尊厳をまもるために ・私たちにできること 	H20
ー 『ホームレスの人々と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレスとは？ ・現状 ・国・地方自治体の対策 ・各国のホームレス ・共生 	H19

ー 『インターネットと人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで世界が広がる ・インターネットによる人権侵害 ・利用者のモラルとマナーが大切 	H21
ー 『アイヌの人々と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の先住民族 ・アイヌの人々の歴史と文化 ・アイヌの人々の現状 ・共生に向けて 	H21
ー 『罪を償った人と人権』	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を償った人ってどんな人？ ・社会の理解と協力 ・人生の再スタート ・出所者の現状 	H22
ー 『北朝鮮による拉致』	<ul style="list-style-type: none"> ・拉致は重大な人権侵害 ・事件の経緯と被害者 ・家族の訴えと私たち 	H24
ー 特別版『世界人権宣言』	「世界人権宣言の意義」解説と、世界人権宣言の全文が掲載されています。	H20
ー あなたはハンセン病のこと知っていますか？	ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために兵庫県が作成したパンフレットです。	H25

問い合わせ：香美町教育委員会 香住区生涯学習センター(香住区中央公民館内)

TEL 36-3764 FAX 36-3568